

1 研究主題

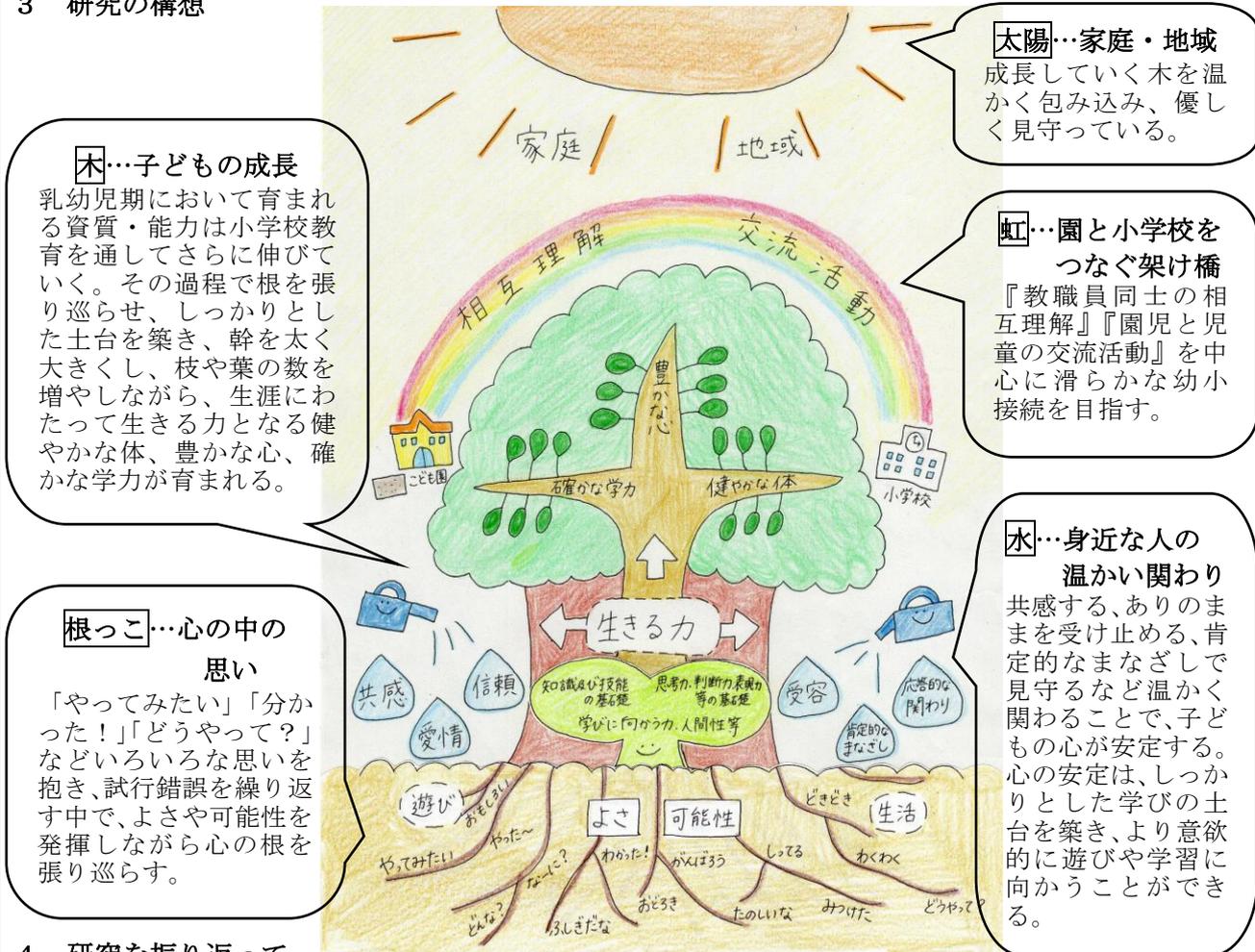
一人一人の成長をつなぐ幼小接続をめざして
～相互理解を深めながら～

2 研究の具体

合同研修や日常的な情報交換、交流活動を通して「子どもの育ちや学びが繋がっていること」「保育者、小学校教員の子どもへの関わり」を共通理解しながら、幼小接続に向けて取り組んでいる。

- (1) 合同研修・公開保育などを通して、互いの教育を理解し合う。
- (2) 互いのカリキュラムを通して育みたい力、教職員の子どもへの関わりを共通理解する。
- (3) 園児と児童の互恵性のある交流活動について考える。
- (4) 園での子どもの育ちや学びが、小学校以降の学習の基盤へと結び付く方向に向かおうとしているのかを考える。

3 研究の構想



4 研究を振り返って

- 合同研修や公開保育後の話し合い、日頃の情報交換などを通して、教職員が互いの教育についてもっと知りたいという思いが強くなり、教職員同士の関係が深まった。
- 5歳児の教育課程と小学校のスタートカリキュラムなどを見合わせて「育みたい資質・能力」について話し合う中で、子どもの育ちや学びのつながりが見えてきた。
- 園児と児童の交流活動については、事前事後の話し合いを大切に内容を工夫しながら取り組み、交流後の子どもたちの育ちを丁寧に見取っていくことで、子どもたちの育ちにとって意味のある交流活動を検証することができた。
- 幼小接続の取組を通して、大切なことは教職員同士のつながりであり、取組を継続していくためには、全ては子どもたちのためにと意識を園や学校全体でもつことが大切であると考えている。